



第4手術室

施設基準等

- 地域がん診療病院
- 地域災害拠点病院
- エイズ治療拠点病院
- 地域周産期医療センター
- 地域医療支援病院
- 災害派遣医療チーム
- 紹介受診重点医療機関
- 第2種感染症指定医療機関
- 地域医療教育センター
- 臨床研修病院 基幹型
- 地域医療人材拠点病院

《5大がんの手術実績（上位3術式）》

● 大腸がん

- ・ 結腸切除術（全切除、垂全切除又は悪性腫瘍手術） … 24件
- ・ 早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術 … 27件
- ・ 腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術 … 40件

● 胃がん

- ・ 内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術（早期悪性腫瘍胃粘膜下層剥離術） … 19件
- ・ 胃切除術（悪性腫瘍手術） … 8件
- ・ 腹腔鏡下胃切除術（悪性腫瘍手術） … 5件

● 肺がん

- ・ 胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（部分切除） … 17件
- ・ 胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（肺葉切除又は1肺葉を超えるもの） … 16件
- ・ 胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（区域切除） … 2件

● 肝がん

- ・ 肝悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法（2センチメートル以内のもの）（その他のもの） … 5件
- ・ 肝切除術（部分切除） … 3件
- ・ 肝悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法（2センチメートルを超えるもの）（その他のもの） … 3件

● 乳がん

- ・ 乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術（腋窩部郭清を伴わないもの）） … 24件
- ・ 乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術（腋窩鎖骨下部郭清を伴うもの）・胸筋切除を併施しないもの） … 13件
- ・ 乳腺悪性腫瘍手術（乳房部分切除術（腋窩部郭清を伴わないもの）） … 29件



手術支援ロボット・ダヴィンチ



病院マスコットキャラクター
ゆきどら うさひめ

独立行政法人国立病院機構 信州上田医療センター

〒386-8610 長野県上田市緑が丘1丁目27番21号
Tel:0268-22-1890 (代表) Fax:0268-22-1893
ホームページ <https://shinshuueda.hosp.go.jp/>



国立病院機構信州上田医療センターの理念

- 私たちは目指します
1. 互いに信頼し尊重しあえる関係
 2. 安全で質の高い医療
 3. 情報を共有して納得のできる医療
 4. 地域と連携して安心できる医療
 5. 医療の将来を見据えた健全な経営

信州上田医療センターの基本方針

1. 患者さんの権利と要望を尊重し、充分な説明・情報提供を行い、患者さんが納得できる医療を行います。
2. 患者さんには誠実に対応し、互いに信頼・協力しあえる関係を作ります。
3. 職員は常に研鑽し、安全な医療、質の高い医療を、平等に提供します。
4. 地域が必要とされる医療、および当院が担当する政策医療の診療・研究・教育に最善を尽くし、情報発信を行います。
5. 地域の急性期医療を担う中核病院地域医療支援病院として、地域医療期間・自治体との連携を強化し、地域住民の健康推進、地域医療の充実を努めます。
6. 医師の臨床研鑽、看護師養成、地域の各種医療従事者の研鑽を行い、医療水準の向上と医療従事者の養成に努めます。
7. 医療環境の変化に対応できる健全な経営を目指します。

患者さんの権利

1. 一人の人間として、その人格・価値観などを尊重される権利があります。
2. 良質かつ適切な医療を平等に受ける権利があります。
3. 病状・検査・治療・見直しなどについて、納得できるまで十分な説明を受ける権利があります。また、自分の診療記録の開示を求める権利があります。
4. 十分な説明と情報提供を受けたうえで、治療方法などを自らの意思で選択する権利があります。そのために担当医以外の医師の意見（セカンドオピニオン）を求める権利があります。
5. 医療の過程で医療者が知り得た個人情報を守られ、入院中も可能な限り私的な生活が乱されない権利があります。
6. ことにおいては、「生きる権利」「育む権利」「守られる権利」「参加する権利」があります。

がん診療のご案内
2024

*このがん診療のご案内は、2024年12月1日現在の紹介です。



【表紙写真】		
腹腔鏡手術の様子	第4手術室	通院治療センター
リニアック（直線加速器）	腹腔鏡手術の様子	がん相談支援センター
手術支援ロボット ダヴィンチ	信州上田医療センター全景	

当院のがん診療について

※部位別がんの診断・治療について詳しくご覧になれます。



●がんの3大治療法●

がんの治療法には、手術（外科治療）、薬物療法（抗がん剤治療など）、放射線治療などがあります。治療の期間や、入院するかどうかは、治療法や患者さんの状況によって変わっていきます。

主治医はまず、がんの種類や進行の程度、体の状態などを検査でよく調べて、提案できる治療法の中から、「最適な治療」を探ります。

「最適な治療」の選択は、がん治療だけでなく、治療が始まってからの生活のことも含めて、患者さんが何を大切にしたいのかがポイントになります。



希望を主治医に伝える…例えば、体への負担が少ないこと、時間、生活、仕事、将来のことなど患者さんの希望に、主治医を含めた医療チームがよりよい、「最適な治療」を一緒に考えます。

放射線治療

年間 188人

※2023年度

※放射線治療について詳しくご覧になれます。



がん治療のひとつとして重要な役割を担っているのが放射線治療です。当院ではリニアック（直線加速器）を用いて高エネルギー放射線（엑스線、電子線）をからだの外からがん病巣に照射する外部照射を行っています。さまざまながんのガイドラインに準拠した根治・完治を目指す治療（根治照射）や、がんによる痛みなどの症状を和らげるための治療（緩和照射）など、状況に応じて多岐にわたる放射線治療に対応しています。

●根治目的の治療●

放射線治療単独または放射線治療と手術や薬物療法を併用することで、「がんの根治・完治」を目指します。がん細胞を死滅させるために高い線量で治療する必要があるため、病巣周囲の正常臓器には一時的に強い悪影響が出てしまうことがあります。重い悪影響を最小限に抑えるために十分注意して治療計画を立てます。

●緩和目的の治療●

がんによる痛みなどの「症状を和らげることを目的とした治療」です。症状緩和のために必要最小限の線量で治療することで、正常臓器に大きな悪影響を与えないようにします。



リニアック（直線加速器）



緩和ケア内科・緩和ケアチーム 年間 159人

※2023年度

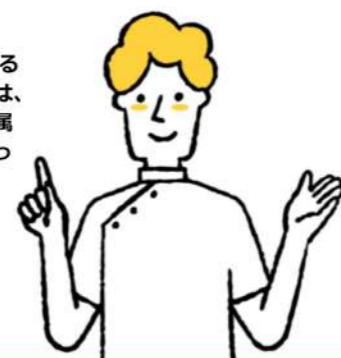
※緩和ケアについてご覧になれます。



「病気に伴う身体と心のつらさを和らげること」を担当します。

がん患者さんはもちろん、がん以外の患者さんも対象で、終末期に限らず診断早期や治療中も対象となります。緩和ケアチーム（看護師、薬剤師、リハビリ、栄養士、相談員など）でかかります。

●難治性疼痛に対する神経ブロック治療は、信州大学医学部附属病院と連携して行っています。



- 痛みやその他の身体症状（倦怠感、息苦しさ、吐き気、食欲低下など）のコントロール
- 精神症状（不安、抑うつ、気持ちのつらさ、意識の混乱など）のコントロール
- 鎮痛剤の導入時の指導、副作用対策
- 抗がん治療に伴う苦痛への対応、セルフケアの指導
- 社会的な不安や悩みの相談
- 認知症や高齢患者の診療方針に関する意思決定のお手伝い
- その他に「病気に伴うつらさ」を有するときの対応 他



緩和ケア内科診察室

手術療法

年間 643件

※2023年度

※手術療法について詳しくご覧になれます。



●日本に多いがん●

新たに診断される患者数が、1年間に10万人あたり30人以上のがんを「日本に多いがん※」で、大腸がん、胃がん、肺がん、膵臓がん、肝臓がん、前立腺がん、乳がんの順になっています。 ※出典：がん情報サービス(国立研究開発法人国立がん研究センター)

当院において多いがんの手術療法の実績は、右のページをご覧ください。



腹腔鏡手術



ダ・ヴィンチによる支援手術のイメージ

通院治療センター

年間 3,806人

※2023年度

※薬物療法、通院治療センターについてご覧になれます。



通院治療センターでは、外来患者さんを対象に抗がん剤などの点滴治療を行っています。2022年5月に全15床にリニューアルされました。がん診療の専門資格を持った医師・看護師・薬剤師を含む専任スタッフが点滴の管理や患者さんの健康状態の観察を行い、



治療の副作用によって生じる苦痛や日常生活などに関する相談もお受けしています。安心・安全・快適に治療を受けていただけるような環境を提供し、患者さんがなるべく今まで通りの生活や仕事を続けながら薬物療法を行っていただけるように支援しています。



がん化学療法看護認定看護師

専任看護師

通院治療センター

■ベッド数

15床（ベッド2台、リクライニングチェア13台）

■スタッフ

- ・専任医師：1名
- ・専任看護師：1名（がん化学療法看護認定看護師）
- ・専任看護師：2名
- ・専任薬剤師：1名（外来がん治療認定薬剤師）



がん相談支援センター

年間 2,359件

※2023年度

※がん相談支援センターについてご覧になれます。



がん相談支援センターでは、がんの患者様やそのご家族の方と悩みを一緒に考え、安心してケアが受けられるよう相談支援を行っています。診断や治療についての情報を提供して、一緒に考え不安を解消するためのお手伝いをいたします。もちろん、相談者のプライバシーはお守りし、秘密は厳守いたします。

●がんに関する支援相談内容● ～例えばこんな相談をお受けします～

- ・自分のがんについて詳しく知りたい
- ・不安や悩みを聞いてほしい
- ・医師に言われた言葉の意味がよくわからない
- ・療養生活上のことについて困っている
- ・治療を受けながら仕事ができるかどうか心配
- ・緩和ケアについて知りたい
- ・セカンドオピニオンについて知りたい
- ・在宅療養について
- ・介護サービスや福祉サービスを利用したい



相談日/月～金（祝日、年末年始は除く）

時間/午前9時～午後4時 場所/がん相談支援センター 相談室（1階正面玄関ホール内窓口にお声がけいただければ、相談室へご案内します）

*相談方法 来院による対面相談、又は電話による相談（※）

※相談の時間確保と事前準備のため、原則予約制とさせていただきますが、直接来院時は可能な限りお受けします。（ご予約は電話でお願いします）

*相談員 看護師、医療ソーシャルワーカー

がん相談支援センター
☎0268-22-1895

